

## 第6期介護保険事業施設整備(案)での広域型特養ホームの計画

# 転換や増築による1110床づくり

第6期介護保険事業計画・第7期高齢者福祉計画(案)及び第6期介護保険事業計画期間内における施設整備(案)が、14日の上越市介護保険運営協議会で示されました。

注目したことのひとつは施設整備(案)です。国の介護保険制度改悪の動きの中で、案

の定、施設サービス抑制の方

注目したことのひとつは施設整備(案)です。国の介護保険制度改悪の動きの中で、案

施設種別	第5期計画	第6期計画案			第6期計画まで	
		27年度	28年度	29年度		
①特別養護老人ホーム	100床 (1施設)	110床	60床 (転換)	50床 (増築)	—	1463床 (17施設)
②小規模特別養護老人ホーム	58床 (2施設)	29床 (1施設)	—	29床 (1施設)	—	194床 (7施設)
③老人保健施設	—	—	—	—	—	917床 (9施設)
④介護付有料老人ホーム	50床 (1施設)	20床	20床 (転換)	—	—	319床 (6施設)
⑤認知症高齢者グループホーム	39床 (2施設)	18床 (1施設)	—	18床 (1施設)	—	459床 (29施設)
計(①~⑤)	247床	177床	80床	97床	—	3352床
⑥小規模多機能型居宅介護事業所	168人 (7施設)	50人 (2施設)	—	50人 (2施設)	—	508人 (21施設)
⑦定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	6事業所	2事業所	—	2事業所	—	8事業所

また、特別養護老人ホーム以外の施設は、第5期計画を大きく下回る整備計画案となりました。小規模特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護では未整備地域に配慮するとしています。

市内の特別養護老人ホームの待機者数は7月1日現在、1173人。日本共産党は、待機状態を解消するために国の財政支援を大幅に増やし、小規模・多機能施設、グループホームなどが地域にきめ細かく整備されるよう、国と自治体の財政支援を強めることを求めています。

今回の計画(案)は27日の市議会厚生常任委員会で審議される予定です。



【ナンブアザミ】キク科アザミ属の多年草。漢字で「南部薊」と書きます。花は薄紫色で、8月から10月にかけて咲きます。草丈は1mを越えるものがあり、初めて出合ったときは女性がドレスを着ているように見えました。写真は吉川区川谷地区にて撮影。

## 地方議員35年勤続で総務大臣感謝状

東京都内で17日、都道府県議会議員及び市区町村議会議員を35年以上勤めた者に総務大臣から感謝状が贈られました。28歳で議員になった私も今回、対象とな



りました。これまでご支援くださいました皆さんに心から感謝申し上げます。

当日、会場で贈呈を受けたのは66人。新潟県内の感謝状対象者は三富佳一県議と井上慶輔見附市議、それに私の3人でした。三富県議、井上市議とは初対面でしたが、式典後、対面し、今後ともよろしくと挨拶を交わしました。

家に帰ってからわかったのですが、参列者の中には千葉県八街市の丸山わき子市議、武蔵村山市議の竹原キヨミ市議、埼玉県杉戸町の阿部啓子町議など日本共産党の議員が何人もいました。

# はしづめ法一の活動レポート

**No.1680 2014.10.26**  
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628 吉川有線 4867  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見え方」はこちら

橋爪法一 検索



# 春よ来い

## 第三二八回

### 顔こしらひ

「ちよつとばかりでも入っていかんねがか」とKさんにうながされ、居間に入らせてもらったのは稲刈りがほぼ終わった秋のある日のことでした。一度は「忙しくてね」と断ったものの、Kさんのあまりにもさみしそうな顔を見て考え直しました。では、一分だけ上げさせてもらおうと……。

じつはKさんは、この日の前日から二度も私のところに電話をかけてきていました。携帯ではなく普通の電話ですので、たいがいは留守です。留守電の内容は忘れてしまいました。たしか、「おれだでもさあ、おまんちよつと来らんねえ……」といった調子で録音されていました。この日は、顔だけでも出しておかないと思ひ、早めに訪問したのです。

居間に入ると、すでにコタツが出ていました。コタツの上にはティッシュボックス、公告の紙を利用して作ったゴミ入れ、テレビのチャンネルを選ぶコントローラーが置いてあります。そして真ん中には半月型の大きな皿があり、その中にはカブ、キュウリ、シロウリの漬けものが載せてありました。漬けものが大好きな私にとっては、手を出したくなるものばかりです。

コタツの上のものをしていると、Kさんは、「いま、顔、こしらったとこんが。女だすけ、一度はぬったくらんきやならんがど」と声をかけてきました。一瞬、「顔、こしらった」ってなんだろうと思つたのですが、Kさんの顔を改めて見て、すぐにわかりました。額やほつぺたがつやつやしていたからです。化粧をすることを「顔こしらひ」と言っていたのです。

私も普段、「こしらえる」という言葉を耳にすることがあります。「うんめもんをこしらえる」とか「こしらえ話だこて」といった形で聞くことがありました。でも、「顔をこしらえる」って使い方は男だつたからでしょうか、これまで聞きませんでした。

どうあれ、「顔こしらひ」とはどんぴしゃりの表現ですね。鏡を見ながら、地の顔に化粧水やパウダー、クリームなどを塗って見事に美しい顔に仕立て上げていく様子が目に浮かびます。私の周りの男性の中には、化粧することを「壁ぬり」という言い方をする人がいますが、「顔こしらひ」の方がきれいになるイメージをいだけさせてくれます。

こしらったばかりのKさんの顔はほぼ四角でした。眉毛は薄く、ほとんどありません。ひよつとすれば、眉をひく一歩手前だったのでしようか。眉の下にある目は落ち着きがあつて、やさしく光っていました。いつも目にしてきた額の深い皺もあまりデコボコが目立ちません。うまくこしらえたものです。

この日、目の前に出された漬けものに舌鼓を打ちながらKさんとおしゃべりを楽しみました。漬けものはおいしくても、ご飯などと一緒でないと、たくさん食べられるものではないです。何回も「もっと食べてくんない」とうながされたので、「今度、来るときはお昼のまんまどきだな」と笑いながら言ったら、Kさんもまたアハハと大笑いしました。

Kさんは今年の一月で満八〇歳になりました。Kさんのお宅は私の幼友達で東城町に住むHさんの親戚筋にあたります。そんなこともあつて、数十年前から付き合いをさせてもらっています。Kさん自身、気さくな人柄で、しかも話好きな人です。一年に何回もお茶をご馳走になつています。この日も一〇分のつもりが三〇分にもなつてしまいました。でも、おもしろい話を聴かせてもらい、いかつたです。

## 垣根を越えた太鼓演奏、大きな感動



区の垣根を越えて文化団体が力を合わせる。15日の夜に行われた舞海夢(まつり)がまさにそうした取組になりました。主催したのは旧頸北地域の太鼓団体、夢幻DAN、海音鼓、鼓舞衆のみなさんと「夢をかなえる会」です。

会場の吉川体育館には450人ほどの人たちが駆け付けました。団体の地元の他、旧市内や安塚等から

の参加者が多く、顔を知らない人がたくさん参加されていました。

第一部は木遣りからはじまって7曲を太鼓を使って演奏しました。第二部は太鼓と篠笛で有名な朋郎の演奏、そして第三部は太鼓団体と朋郎のコラボでした。いい音が出た時、うれしいんでしょうね。今回出場した太鼓団体の演奏をいままで何度も聴いています



が、この晩ほど演奏者の笑顔が見られた演奏はありませんでした。会場に集まった人たちと一体となった演奏は最高に盛り上がりました。まさかピクニックを太鼓演奏で聴けるとは思わなかったです。感動的なイベントになりました。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月15日(水)	10月22日(水)
上越南消防署	0.030	0.040
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.057	0.047
頸北消防署	0.050	0.063
東頸消防署	0.050	0.046
高士分遣所	0.040	0.050
名立分遣所	0.050	0.050